

さわらび

■ 2019年度 学校教育目標

「自立・貢献」できる生徒の育成

■ 取組のポイント～大事にしたいこと～

生徒・教職員ともに、以下の2つのポイントはどの活動においても大事にしたいことです。

(1) 「責任」と「協働」が基本！

本校は、全校生徒4名、常勤の教職員6名です。そのため教職員では、1人1人がいくつもの校務分掌（学校の中での役割）を担当します。他校では数人のチームで取り組むことも1人で用意・提案して進めることも多々あります。このようなことは、生徒の活動でも同じです。1人1人の係や役割は、その人の責任で取り組まないと動いていきません。

また、少ない人数だからこそ、遠慮せずに手伝ってもらうこと、隣の人に声を掛けること、一緒に協力してやることは大切です。本校の“チーム藤岡中”のありようは、「責任」と「協働」によって成り立つものです。

※例えば…今年度は、学校の環境整備（美化活動）にも時間をかけます。人数の割には広い敷地を、生徒・教職員で協力して整備していきます。そのうえで、地域の皆さんにもお声を掛けさせていただいて、一緒に取り組むことができると考えています。これも、「責任」と「協働」の1つです。

(2) つながりひろげよう！

「つながり」もキーワードの1つです。どの取組をしても少人数の藤岡中学校の中で終わりではなく、外へ発信していくことを大事にします。そしてその発信を元にしてやり取りしあったり、交流しあったりしていきます。

「自立・貢献」を目指す中で、多くの人と出会うつながることは、独りよがりにならず、様々な情報を元にして自分の考えを持つことに重なります。また「つながりほぬもり」です。人とつながることは、安心感や自信になっていきます。今年だけのことではなく、卒業後も何歳になっても大事にしてほしいことです。

※例えば…修学旅行の防災交流で立ち寄る兵庫県立舞子高校や毎年交流している四万十の郷、総合学習で地域に行くこと等々、その時々様子を生徒の手で本校のホームページにアップしたり、交流の後の関わりも大事にしています。また、修学旅行後には、阪神淡路大震災の思いを受け継いだ「はるかかのひまわり」を生徒・教職員みんなで育てていきます。

左にあげたようなことをいつも

根っこに意識しながら、1年間取り組んでいきたいと思いますが、何より学校の取組の中心は、授業です。新しい学習指導要領（全国の学校でも一定の水準の教育を受けられるようにするための基準）で

〈今、花畑は満です〉



は、生徒たちが大人になって生きる社会（新しい時代）を見通して必要だとされている学力について示されています。

そのことを踏まえて、今年度の本校では特に「自ら考え、判断し、表現する力」を育成できる授業を目指していきます。たしかに、少人数であることは話し合い活動等においてはハンディであるかもしれませんが、各教科で工夫しながら生徒の学力向上に向き合っていきます。

また、家庭学習（特に予習復習）は、昨年度の課題でもあります。後から振り返って役立つノートを作ることや生徒自身がすすんで行える予習の仕方について、保護者の皆様と一緒に取り組めたらと考えています。

教科支援ボランティアとしては、次の方に来ていただく予定にしています。

○美術……中村博保さん

2018年度に引き続いて、1学期に12時間程度の予定。

○書道……大塚真喜子さん

2018年度に引き続いて、2学期に6時間程度の予定。

○式典校歌伴奏……佐竹佳子さん

今年度からお願いしました。終業式、始業式、卒業式などの式典の時のピアノ伴奏と歌唱指導です。1学期終業式から、計7回程度です。なお、佐竹さんは平成18年度～21年度、本校で勤務された元音楽の先生です。



休みにアルミ缶の移し替えをしました。短い時間ですが、生徒・教職員でとりかかっています。

地域の皆様、たくさんのご協力をお願いいたします。

～交通安全について～

今年度も高知県警察本部作成の交通安全教材「T・S・N (Traffic・Safety・News)」を定期的に配布します。各ご家庭でも子どもたちと一緒にご一読ください。また、これから4月末の10連休に向けて、行楽日和で観光客も増えます。登下校の安全も気をつけていきましょう。